

## 地理歴史・公民(世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済)問題

はじめに、これを読みなさい。

1. これは、世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済の4科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。
2. 問題は全部で88ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい、解答用紙にある「解答科目マーク欄」に1つマークし、「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお、マークしていない場合、または複数の科目にマークした場合は0点となる。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

良い例	悪い例
●	● ⊗ ○

## 日 本 史 B

(解答番号 1～40, 101～110)

〔 I 〕 次の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 1～8, 101～102)

6世紀の朝鮮半島では、高句麗<sup>(ア)</sup>の圧迫を受けた (1) や (2) が勢力を南下させ加耶の諸小国をあわせたため、加耶諸国は562年までにつぎつぎに (1) ・ (2) の支配下にはいった。そして加耶諸国と結びつきのあったヤマト政権の半島での勢力は後退した。6世紀初めの政治を主導した (3) 氏は、朝鮮半島への政策をめぐり勢力を失い、6世紀中ごろには、(4) 氏と新興の (5) 氏とが対立するようになった。(5) 氏は渡来人と結んで朝廷の財政権をにぎり、政治機構の整備や仏教の受容を積極的に進めた。<sup>(イ)</sup>

660年、唐は (2) と結んで (1) を、そして668年には高句麗を滅ぼした。難波から飛鳥<sup>(ウ)</sup>へもどった (6) 天皇のもとで、倭は (1) 復興を支援するため大軍を派遣したが、663年に白村江の戦いで唐・ (2) 連合軍に大敗した。その後、 (2) が半島の支配権を確立し676年に半島を統一した。

問 1 空欄(1)および空欄(2)に入る適切な国名を解答用紙裏面の解答欄にそれぞれ漢字で記入せよ。空欄(1)を解答番号101, 空欄(2)を解答番号102とする。  
(解答番号101～102)

問 2 空欄(3)(4)(5)にそれぞれ入る適切な姓を下記の共通語群の中から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。なお、空欄(3)の解答番号を1とし、以下番号順に解答欄にマークすること。(解答番号1～3)

[共通語群]

- |      |      |      |
|------|------|------|
| A 弓削 | B 蘇我 | C 葛城 |
| D 大伴 | E 阿倍 | F 物部 |
| G 中臣 | H 平群 | I 石上 |

問 3 空欄(6)に入る最も適切な名称を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号4)

- |      |      |      |
|------|------|------|
| A 弘文 | B 天智 | C 孝徳 |
| D 斉明 | E 天武 |      |

問 4 下線部(ア)に関連して、高句麗と周辺諸国との関係について記述した文章として最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号5)

- A 朝鮮半島北部におこり、次第に領土を広げ、313年には楽浪郡を滅ぼした。
- B 5世紀後半に南下策を進めると、朝鮮半島南部の鉄資源を確保するために、倭国と争うことになった。
- C 高句麗の僧観勒は日本に彩色・紙・墨の技法を伝えたとされている。
- D 高句麗との戦いにより、倭人はいやおうなしに騎馬技術を学び、5世紀になると、日本列島の古墳の副葬品にも馬具が現れるようになった。
- E 隋による高句麗への侵攻が始まったのは7世紀中葉のことである。

問 5 下線部(イ)に関連して、6世紀から7世紀にかけての政治情勢や文化について記述した文章として最も適切なものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号6)

- A 東アジア情勢が緊迫するなかで、厩戸王らにより国家組織の形成が進められ、610年に憲法十七条が定められた。
- B 法隆寺などの建築物にはエンタシスがみられ、当時の西アジア・インド・ギリシアの文化の影響を受けていることがわかる。
- C 天武天皇が亡くなった翌年の672年、子の大友皇子と弟の大海人皇子の間で皇位継承をめぐる戦い(壬申の乱)が起きた。
- D 倭は630年、小野妹子を遣唐使として派遣し、中国の政治や文化を大いに学ぼうとした。
- E 684年、天智天皇は八色の姓を定め、豪族たちを、天皇を中心とした身分秩序に編成した。

問 6 下線部(ウ)に関連して、飛鳥文化と最も関連が深い事項を下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号7)

- A 薬師寺東塔
- B 法隆寺阿弥陀三尊像
- C 興福寺仏頭
- D 高松塚古墳壁画
- E 獅子狩文様錦

問 7 下線部(エ)に関連して、その後の出来事①～⑤を正しい順番で並べたものを下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号8)

- ① 飛鳥浄御原令施行
- ② 近江大津宮に遷都
- ③ 藤原京に遷都
- ④ 大宝律令完成
- ⑤ 庚午年籍の作成

[選択肢]

- A ⑤②③④①
- B ②⑤①③④
- C ⑤②③①④
- D ⑤①③②④
- E ②⑤①④③

日本史B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅱ〕 次の 1・2 の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 9～16, 103～104)

1 1219(承久元)年、将軍の源実朝が頼家の子公暁によって暗殺され、公暁も殺されると、源氏の血筋が絶え、北条義時は後鳥羽上皇に皇子の将軍職就任を要請した。しかし、あらたに院警護のために (1) をおいて兵力を増強し、幕府打倒を目指していた後鳥羽上皇はこの要請を拒むとともに、自分に関係する荘園の地頭職の停止を要求するなど、鎌倉幕府との対立を深めた。

そして1221(承久3)年、後鳥羽上皇は、(1) や畿内近国の武士らに対して義時追討の宣旨を出したが、多くの武士は、頼朝以来の御恩にこたえよという北条政子の呼びかけに応じて幕府に結集した。義時の弟の時房と子の泰時に率いられた幕府軍は、東海・東山・北陸の三道に分かれて京都を攻め、わずか1か月で反乱を鎮圧した。

この乱後、幕府は三上皇の配流などの処分を強行し、仲恭天皇に代えて、後堀河天皇を立てた。また、上皇方の貴族・武士の西国を中心とする所領3000か所あまりを没収し、戦功のあった東国の武士たちをあらたに御恩として地頭に任命した。時房と泰時は乱後も京都にとどまり、(2) をもうけて、朝廷の監視や京都の警備、尾張(のちの三河)以西の国々の御家人の統括にあたった。こうした乱後の政策によって、幕府の西国支配は飛躍的にすすみ、朝廷の権威がおとろえる一方で、幕府の全国支配がいつそう強化されることになった。

問 1 空欄(1)に入る適切な用語を、解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 103)

問 2 空欄(2)に入る適切な用語を、解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 104)

問 3 下線部(ア)に関連して、源実朝は万葉調の和歌を詠み、歌壇に新風を送ったといわれているが、彼の和歌が残されている歌集は何か。下記から最も適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 9)

- A 金槐和歌集      B 金葉和歌集      C 山家集  
D 新葉和歌集      E 万葉集註釈

問 4 下線部(イ)に関連して、三上皇の配流先の組み合わせとして正しいのはどれか。下記から最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 10)

- A 後鳥羽上皇－隠岐，土御門上皇－佐渡，順徳上皇－土佐  
B 後鳥羽上皇－隠岐，土御門上皇－土佐，順徳上皇－佐渡  
C 後鳥羽上皇－佐渡，土御門上皇－隠岐，順徳上皇－土佐  
D 後鳥羽上皇－佐渡，土御門上皇－土佐，順徳上皇－隠岐  
E 後鳥羽上皇－土佐，土御門上皇－隠岐，順徳上皇－佐渡  
F 後鳥羽上皇－土佐，土御門上皇－佐渡，順徳上皇－隠岐

問 5 下線部(ウ)に関連して新補地頭に関する記述として誤っているものを、下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 11)

- A 承久の乱後に新たに置かれた地頭の得分は、すべて新補率法が適用された。  
B 新補率法が適用された地頭を新補地頭と呼んだ。  
C 新補地頭以外の地頭を本補地頭ともいう。  
D 新補率法は、① 11 町につき 1 町の給田，② 1 反あたり 5 升の加徴米，③ 山野河海からの収益の半分を与えるという基準であった。  
E 新補地頭のなかには、現地の荘官・農民や荘園領主との間に新たな紛争を生じさせたものもいた。

2 足利義満とその子義持の時代、中央では安定した幕府政治が続いた。しかし、東国や西国では守護大名たちが領国支配体制を固めつつあり、しだいに幕府の統制から自立を強める傾向にあった。京都では徳政一揆<sup>(エ)</sup>が頻発し、幕府政治は不安定になっていく。やがて全国の大名を二分した応仁・文明の乱が勃発し、それによる幕府の権威の失墜を経て、戦国の世になっていく。

こうした政治の不安定状況の一方で、<sup>(オ)</sup>商工業や流通が発展し、地方でも各地に都市の発達がみられるようになった。農村では、中世前期以来の農業技術の革新<sup>(カ)</sup>を受けて、農民の政治的、経済的地位が向上した。都市や村の祭礼、芸能<sup>(キ)</sup>、住宅建築などで現在の日本の生活様式に直接つながる文化が形成されてくるのも、この時代である。

問 6 下線部(エ)に関連して、以下の資料の文中にある二重線「官(管)領」とは誰のことか、下記の選択肢から最も適切な人名を一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 12)

正長元年九月 日、一天下の土民蜂起す。徳政と号し、酒屋、土倉、寺院等を破却せしめ、雑物等、恣に之を取り、借錢等悉くこれを破る。官(管)領これを成敗す。凡そ亡国の基、これに過ぐべからず。日本開白以来、土民蜂起是れ初めなり。

(『大乘院日記目録』原漢文)

[選択肢]

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| A 斯波義教 | B 畠山満家 | C 畠山持国 |
| D 細川満元 | E 細川持之 |        |

問 7 下線部(カ)に関連して、分国支配を行った戦国大名に関する説明として最も適切なものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

(解答番号 13)

- A 戦国大名は、国人や地侍を大量に家臣にとりたてて、寄親寄子制を導入して、その統制をはかった。
- B 戦国大名は、国人や地侍がそれぞれの所領から得ている収入を、石高で統一的に把握し、彼らの所領を安堵するとともに、石高に応じた軍役を課した。
- C 戦国大名は、中国向けの重要な輸出品となっていた銅の獲得のために別子銅山などの鉱山開発につとめた。
- D 戦国大名は、座の特権を保護する楽市令を出して、自由な商取引を保障した。
- E 戦国大名は、独自の分国法を定めて、国人や惣村どうしの紛争は実力で決着させるなど軍事警察権を確立して、領国支配を強めた。

問 8 下線部(カ)に関連して、鎌倉時代末期から室町時代にかけての農業技術の革新に関する説明として誤っているものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 14)

- A 稲の品種改良が進み、早稲や晩稲だけでなく中稲も栽培され、気候に応じて作付けができるようになった。
- B 鋤・鍬・鎌などが広く流通して入手しやすくなり、上層農民のなかには、牛や馬に引かせる犁や馬鍬などを使う者もあらわれた。
- C 全国的に米と麦とそばの三毛作が広まり、耕地の拡大や利用がますます進んでいった。
- D 肥料も刈藪や草木灰のほかに、人糞尿も使われはじめた。
- E 用水路や溜池などの灌漑施設が整備され、竜骨車などの揚水具も使われるようになった。

問 9 下線部(キ)に関連して、今日の和風建築につながる書院造の代表的建築で、8代将軍足利義政の書斎としても受けられたものを何というか。下記から最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 15)

- A 興福寺五重塔      B 苔寺庭園      C 東求堂同仁齋  
D 竜安寺石庭      E 鹿苑寺金閣

問10 下線部(キ)に関連して、当時の庶民の間では、盆踊りや幸若舞・古浄瑠璃や小歌などが愛好されたが、1518年に編集されたといわれる小歌の歌集を何というか。下記から最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 16)

- A 犬筑波集      B 御伽草子      C 閑吟集  
D 新撰菟玖波集      E 節用集

日本史 B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅲ〕 次の 1～2 の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 17～24, 105～106)

1 沖縄では、北山・中山・南山の 3 地方勢力(三山)が成立して争っていたが、1429(永享元)年、中山王の (1) が三山を統一し、琉球王国をつくりあげた。琉球は明や日本などと国交を結ぶとともに、海外貿易をさかんにおこなった。琉球船は、南方のジャワ島・スマトラ島・インドシナ半島などにまでその行動範囲を広げ、東南アジア諸国間の中継貿易に活躍したので、王国の都首里の外港である那覇は重要な国際港となり、琉球王国は繁栄した。しかしその後、琉球王国は、1609(慶長 14)年、薩摩の島津家久の軍に征服され、薩摩藩の支配下に入った。

問 1 空欄(1)に入る適切な人物名を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。  
(解答番号 105)

問 2 下線部(ア)の三山とそれらの城跡の組み合わせとして正しいものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 17)

- A 北山：座喜味城 中山：玉城城 南山：今帰仁城  
B 北山：今帰仁城 中山：座喜味城 南山：玉城城  
C 北山：玉城城 中山：今帰仁城 南山：座喜味城

問 3 下線部(イ)に関連して、当時の琉球王国について記述した文章として適切でないものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 18)

- A 琉球王国は、奄美大島から八重山諸島までを支配下におさめた。  
B 明には琉球産の馬や硫黄のほか、日本産の胡椒や象牙などを進貢した。  
C 琉球で歌われた歌謡を集大成した『おもろさうし』が編纂された。  
D 貿易で繁栄した 15 世紀の琉球は、「万国の津梁」と謳われた。

問 4 下線部(ウ)に関連して、薩摩藩と琉球王国との関係について記述した文章として適切でないものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 19)

- A 薩摩藩は琉球にも検地・刀狩をおこなって兵農分離をおし進めた。
- B 薩摩藩は琉球を独立した王国として、中国との朝貢貿易を継続させた。
- C 琉球は国王の代わりごとにそれを奉祝する慶賀使を薩摩藩に派遣した。
- D 琉球は黒砂糖や中国産生糸などの貴重品を薩摩藩に献上した。

2 17世紀末にカムチャツカ半島に達したロシアは、18世紀に入ると、さかんに北太平洋の調査を行い、蝦夷地にもあらわれるようになった。そして、1792(寛政4)年には漂流民の大黒屋光太夫をともないロシアの使節ラクスマンが根室に來航した。ラクスマンは江戸へ向かおうとしたが幕府はこれを拒絶、 (2) 入港を許可する信牌を渡して帰国させた。1796(寛政8)年、英国船が内浦湾(現在の室蘭)に來航したことを契機に、1798(寛政10)年、幕府は180人からなる蝦夷地調査隊を派遣して東西蝦夷地を調査させた。結局東蝦夷地は1802(享和2)年に幕府の直轄地とされ、箱館奉行が設置された。5年後の1807(文化4)年、全蝦夷地が直轄化され松前藩の陸奥国伊達郡梁川に移され、松前奉行が設置された。その後、幕府は (3) らを派遣し、樺太から黒竜江下流の探検も行った。

問 5 空欄(2)に入る最も適切な地名を、下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 20)

- A 長崎      B 対馬      C 平戸      D 下関

問 6 空欄(3)に入る適切な人物名を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。(解答番号 106)

問 7 下線部(ア)に関連して、古くから北海道で生活をしてきたアイヌに関して記述した以下の文章のうち、適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 21)

- A 和人の進出にたえかねたアイヌは、1457年、大首長コシャマインを中心に蜂起した。
- B 上之国の領主蠣崎氏は、道南地域の和人居住地の支配者に成長し、江戸時代には松前氏と名乗って蝦夷地を支配する大名となった。
- C アイヌの口承文学「ユーカーラ」は、民族の神々(カムイ)や英雄の長編叙事詩である。
- D 明治政府は、1899年にアイヌ文化振興法を制定したが、アイヌの生活や文化の破壊をくい止めるものにはならなかった。

問 8 下線部(オ)の人物からの聞き取りをもとに、桂川甫周が著した書物として最も適切なものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

(解答番号 22)

- A 環海異聞                      B 海防臆測                      C 辺要分界図考  
D 北槎聞略                      E 慎機論

問 9 下線部(カ)に関連して、蝦夷地開拓と海外防備の必要性をといた『三国通覧図説』や『海国兵談』を著した人物は誰か。下記から最も適切な人物を一人選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 23)

- A 高野長英    B 本多利明                      C 林子平    D 渡辺崋山

問10 下線部(キ)に関連して、江戸時代の日本国内における海上交通および流通経済に関して記述した文章として、適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 24)

- A 江戸では、米や雑穀をはじめとする地廻り物を扱う問屋が結成され、江戸地廻り経済圏が形成された。  
B 17世紀後半になると、河村瑞賢によって南海路が整備され、全国的な海上交通網が完成した。  
C 18世紀末ごろに、日本海の北前船や尾張の内海船などの廻船業が各地で発達した。  
D 大坂・江戸間には、菱垣廻船や樽廻船が定期的に運航され、大坂から木綿・油・酒などを江戸へ運んだ。

〔IV〕 次の1・2の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 25～32, 107～108)

1 戊辰戦争の進行とともに、新政府は、没収した旧幕府領のうち、要地を府、<sup>(ア)</sup>そのほかを県としたが、諸藩では各大名が統治する体制が従来のまま存続していた。政治的統一をめざす新政府は、残された諸藩も徐々に直接統治に組み込む方針を立て、1869(明治2)年1月、木戸孝允・大久保利通らが画策して、薩摩・長州・土佐・の4藩主に朝廷への<sup>(イ)</sup>を出願させると、多くの藩がこれにならった。新政府は6月に、これら以外の全藩主にもを命じる一方、旧大名には石高にかわる家禄をあたえ、旧領地の知藩事(地方長官)に任命して、藩政にあたらせることにした。

問 1 空欄(1)に入る藩の名称として最も適切なものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 25)

- A 越前                      B 安芸                      C 肥前  
D 肥後                      E 備前

問 2 空欄(2)に入る用語を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。(解答番号 107)

問 3 下線部(ア)に関連した記述として最も適切なものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 26)

- A 徳川慶喜の命を受けた勝海舟と、西郷隆盛の交渉により、1868(明治元)年4月に江戸城が無血開城された。  
B 東征軍(官軍)は武士から成り、農民や商人は参加できなかった。  
C 1867(慶応3)年12月、徳川慶喜を擁する旧幕府側は、新政府軍との直接対決を避けるために京都から大坂に逃れた。  
D 1869(明治2)年5月、箱館の五稜郭に立てこもっていた近藤勇らが降伏した。  
E 徳川慶喜を擁する旧幕府側は1868(明治元)年1月、鳥羽・伏見の戦いで新政府軍に敗れ、その後、慶喜は駿河(現静岡県)に逃れた。

問 4 下線部(イ)の人物に関連した記述として最も適切なものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 27)

- A 岩倉使節団の一員として、伊藤博文、大隈重信らとともに欧米に派遣された。
- B 明治六年の政変ののちに文部卿に就任し、政府を指導した。
- C 立憲制への移行について木戸孝允、板垣退助とは決定的に対立し、ついに和解することはなかった。
- D 薩摩藩の下級武士であり、薩英戦争を経て薩摩藩がイギリスに接近する開明政策に転じた後、藩政を掌握した。
- E 同じ薩摩藩出身の西郷隆盛などによって唱えられた征韓論を支持した。

問 5 下線部(ウ)に関連して、新政府の政策が藩や大名などの旧体制に及ぼした影響について記述した文章として最も適切なものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 28)

- A 奇兵隊をはじめとする薩摩藩の諸隊は、ついには武力で鎮圧された。
- B 藩主の家禄は実質的に温存されたが、徴税と軍事の両権は各藩から取り上げられることになった。
- C 1871(明治4)年、新政府は廃藩置県を断行し、旧大名である知藩事をそのまま府知事・県令として任命した。
- D 新政府の直轄地(府県)においてはとりわけ厳しい年貢徴収が行われ、各地で一揆が続発した。
- E 封建的身分制度の撤廃も進められ、藩主は藩士、旧幕臣とともに士族とされた。

2 第一次世界大戦は、日本経済を活気づける一方で、急激な物価上昇を引きおこした。<sup>(エ)</sup>なかでも、都市人口が急増して不足していた米は、(3) 出兵ともなう軍用米の増加をみこんだ投機商人らの買い占めや商人らの売りおしみがくわわり、1918年7月ころから米価は異常な値上がりとなった。そして(4) の漁村の女性たちが、県外への米の積みだしの阻止と安売りを求めたのをきっかけに、東京・大阪・京都・神戸などの大都市でも人びとが米の安売りを求めて米屋や金貸しなどを襲い、警官隊と衝突した。この米騒動はほぼ全国におよび、労働争議にも影響をあたえながら、約50日間つづいた。(5) 内閣は政府批判をつづける新聞の発行を停止し、皇室から救済資金を出し、のべ9万人もの軍隊を出動させて鎮圧した。しかし、政府批判はおさまらず、(5) 内閣は倒れた。民主主義を求める風潮が強まるなかでおこった米騒動は人びとに大きな刺激をあたえ、さまざまな社会運動の発展をうながした。<sup>(オ)</sup>

問 6 空欄(3)に入る地名として、最も適切なものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 29)

- A シベリア                      B 朝鮮                      C 満州  
D ビルマ                          E 台湾

問 7 空欄(4)に入る県名として、最も適切なものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 30)

- A 富山県                          B 福井県                      C 新潟県  
D 宮城県                          E 山形県

問 8 空欄(5)に入る人物名として、最も適切なものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 31)

- A 寺内正毅                      B 原 敬                      C 高橋是清  
D 加藤友三郎                      E 犬養毅

問 9 下線部(㉔)に関連して、第一次世界大戦後の日本の大戦景気に関する記述として、適切でないものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 32)

- A 日本からの輸出額が輸入額を大幅に上回り、債務国であった日本は債権国となった。
- B 大戦によって外国から染料・医薬品・肥料などの輸入が途絶えたため、国内の化学工業が飛躍的に発展した。
- C 世界的な船舶不足のため、造船業や海運業は大きく発展し、船成金とよばれる富豪も生まれた。
- D 水力発電の発達によって工業用動力源の中心は蒸気力から電力にかわった。
- E 日本は農業国から工業国に変わり、工業生産額が国民総生産額の70%を超えるにいたった。

問10 下線部(㉕)に関連して、1922年に設立された部落解放運動に関わる組織名を漢字五字で解答用紙裏面の解答欄に答えなさい。(解答番号 108)

〔V〕 次の1～2の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号33～40, 109～110)

1 1937(昭和12)年7月7日, 日中両国軍の衝突事件が発生した。日本側の戦線拡大に対し, 国民政府の側も断固たる抗戦の姿勢をとったので, 戦闘は当初の日本側の予想をはるかに超えて全面戦争に発展した(日中戦争)。9月には国民党と共産党がふたたび連携して(第2次 (1)), 抗日民族統一戦線を成立させた。日本はつぎつぎと大軍を投入し, 年末には国民政府の首都 (2) を占領した。その後, 日中戦争は泥沼のような長期戦となった。

問1 空欄(1)に入る最も適切な用語を漢字四字で解答用紙裏面の解答欄に答えなさい。(解答番号109)

問2 空欄(2)に入る都市名を漢字二字で解答用紙裏面の解答欄に答えなさい。(解答番号110)

問3 下線部(ア)に関連して, 1937(昭和12)年7月7日当時の首相名は誰か。下記から最も適切なものを一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号33)

- A 東条英機                      B 近衛文麿                      C 広田弘毅  
D 平沼騏一郎                    E 小磯国昭

問4 下線部(イ)に関連して, この事件名として, 最も適切なものを下記から一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号34)

- A 張作霖爆殺事件              B 済南事件                      C 柳条湖事件  
D 西安事件                      E 盧溝橋事件

問 5 下線部(ウ)に関連して、日中戦争から太平洋戦争終結にいたるまでの出来事①～④について、古いものから年代順に正しく配列したものを下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 35)

- ① 国家総動員法の制定                      ② 学徒出陣  
③ 国民徴用令の発令                      ④ 東京大空襲

[選択肢]

- A ②③①④                      B ③①②④                      C ①③②④  
D ④③②①                      E ①③④②

2 GHQ は、農村の民主化を進めるために、地主制の解体を求めた。1945(昭和<sup>(イ)</sup>20)年11月、日本政府は在村地主の所有限度を5町歩(約5ha)<sup>(オ)</sup>とする農地改革案(農地調整法改正)を作成したが(第1次農地改革)、GHQは満足しなかった。GHQに農地改革の再検討を要求された政府は、農地調整法再改正と(3)の制定によって、1947年から1949年にかけて第2次農地改革を行った。その結果不在地主はなくなり、地主の所有限度が決められ、これを超える分は政府が買い上げ、農地委員会を通じて小作農民に優先的に売り渡し、また小作料の定額金納を定めた。これにより小作農の大部分は自作農となり、それまでの農村の支配的秩序であった権威主義的な地主・小作関係を基礎とする地主制はここに解体された。

(キ)

問6 空欄(3)に入る法律名として、最も適切なものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号36)

- A 農地法                      B 小作料統制令              C 小作調停法  
D 農業基本法                E 自作農創設特別措置法

問7 下線部(エ)に関連して、GHQに関する記述として適切でないものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号37)

- A 占領政策の基本は、ポツダム宣言に基づき、GHQが日本政府を指導する間接統治方式であった。  
B 占領軍はほとんどアメリカ軍であり、アメリカの主導権のもとで占領政策が進められた。  
C GHQは、戦時期の軍国主義の思想的基盤となった国家神道を解体した。  
D 1945年8月末から、アメリカ軍が各地に進駐し、9月にはマッカーサーを最高司令官とするGHQが東京に移された。  
E GHQの指示によって、独占禁止法が制定され、その後、三井・三菱・住友・安田の四大財閥本社が解体させられた。

問 8 下線部(オ)に関連して、1945(昭和 20)年 11 月の第 1 次農地改革時の首相は誰か。下記から最も適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 38)

- A 東久邇宮稔彦      B 幣原喜重郎      C 鈴木貫太郎  
D 吉田茂      E 鳩山一郎

問 9 下線部(カ)に関連して、第 2 次農地改革の農地委員会の構成に関する記述として、最も適切なものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 39)

- A 自作農が半数を占めて、自作農に有利な構成であった。  
B 小作農が半数を占めて、小作農に有利な構成であった。  
C 地主が半数を占めて、地主に有利な構成であった。  
D 地主・自作農・小作農各 5 名の委員で構成された。  
E 農地改革の成果を徹底させるため、GHQ が委員に入った。

問10 下線部(キ)に関連して、第 2 次農地改革後の 1950 年における全農地に占める自作地の割合として、最も適切なものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 40)

- A 約 30 %      B 約 40 %      C 約 50 %  
D 約 70 %      E 約 90 %